

## 平成 16 年度第 1 回日本スポーツ少年団常任委員会議事録

日 時 平成 16 年 4 月 14 日(水)13 時 30 分～14 時 15 分  
場 所 財団法人日本体育協会 理事・監事室  
出席者 長沼本部長、佐藤、田中の各副本部長  
島中、佐藤、山野井、柴、森、定常、三谷、厨、  
折原、村田、片山、山岸、中原、枝川、山崎の各常任委員  
〈委任〉吉田副本部長、岩崎、菅原、小杉の各常任委員  
——委員総数 22 名、うち出席 22 名(委任 4 名を含む)  
設置規程第 17 条第 3 項により会議成立。  
〈事務局〉岡崎事務局長、古賀次長、小寺部長、川島課長、向佐課長  
他青少年スポーツ部職員

議事に先立ち、長沼本部長より、新年度にあたり、青少年問題が新しい形で発生してきている中で、スポーツ少年団の役割は重くなってきており、単にスポーツ少年団を発展させるだけでなく、わが国の青少年問題にいい意味で波及効果をもたらすようなものでありたいという旨、挨拶があった。

長沼本部長を議長とし、議事に入った。

### <報告事項>

#### 1. 平成 15 年度日本体育協会事務局機構および職員の配置について

事務局より資料に基づき、去る 4 月 1 日からスタートした平成 16 年度日本体育協会事務局機構および職員配置について報告。

#### 2. 平成 15 年度第 4 回常任委員会および第 2 回委員総会の議事録について

議長より資料に基づき報告。これを了承。

#### 3. 第 26 回全国スポーツ少年団剣道交流大会・第 1 回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会の終了について

事務局より資料に基づき、去る 3 月 26 日～28 日に福岡県福岡市で開催した全国剣道交流大会および 3 月 27 日～30 日に鹿児島県鹿児島市で開催した全国バレーボール交流大会について、両大会とも開催県スポーツ少年団ならびに競技団体など関係団体の協力のもと成功裡に終了した旨を報告。これを了承。

厨常任委員より、剣道交流大会の開催県(福岡県)として、関係団体の協力およびリーダーの活躍で、無事大会を終了できた旨報告。今後、全国的な大会に必要なリーダーの育成をより充実していきたいと、併せて報告があった。

柴常任委員より、バレーボール交流大会について、選手は4年生以上と規定されているが、ベンチスタッフとして3年生が認められるのかどうか質問があり、これに対して、今後活動開発部会にて検討し、要項上で明確にする旨、事務局より回答。

#### 4. 第31回日独同時交流「日本派遣団」団長団の決定および派遣団員の内定について

事務局より資料に基づき、長沼本部長に一任されていた、谷藤文明日本スポーツ少年団委員を団長とする団長団の決定および派遣団員108名の内定について報告。今後、欠員14名の補充を行うとともに、指導者については5月2日から、団員については5月3日から東京・国立オリンピック記念青少年総合センターで開催する事前研修会を経て正式決定とすることを併せて報告。以上、いずれも了承。

#### 5. 2004年日中青少年スポーツ団員交流「日本派遣団」団長団の決定および派遣団員の内定について

事務局より資料に基づき、長沼本部長に一任されていた、田中純二日本スポーツ少年団副本部長を団長とする団長団の決定および派遣団員35名の内定について報告。内定した団員については、来たる5月15日から香川県で開催する事前研修会を経て正式決定とすることを併せて報告。これを了承。

#### 6. 平成15年度日本スポーツ少年団シニア・リーダースクールの終了について

事務局より資料に基づき、シニア・リーダースクールを当初計画どおり実施し、全課程を修了した213名(男子101名、女子112名)を指導者・リーダー養成プロジェクトの審査を経てシニア・リーダーとして3月末をもって認定したことを報告。これを了承。

#### 7. 平成15年度日本スポーツ少年団顕彰事業の終了について

事務局より資料に基づき、日本スポーツ少年団顕彰要綱第3条第3項により各県を通じ14都県24名の退任指導者に対し感謝状を贈呈したこと、また、これにより平成15年度の顕彰事業を総て終了した旨を報告。これを了承。

#### 8. 体育功労者及び社会体育優良団体表彰実施要項の一部改正について

事務局より資料に基づき、文部科学省が実施している「体育功労者及び社会体育優良団体表彰」の実施要項が一部改正され、本会に係る主な変更点として、表彰名が「体育功労者」から「生涯スポーツ功労者」に改正されたこと、推薦団体の推薦枠が5名から10名に拡充されたこと、5名の増員については、若手指導者や女性指導者をより積極的に推薦できるよう新たに推薦枠が確保されたことによるものであることを報告。

これに伴い、従来、5ブロック内持ち回りで1都道府県1名の推薦枠としていたが、今回の推薦枠の拡大について担当専門部会の中原指導育成部会長とも相談した結果、改正の趣旨に沿う形で実施するため、5ブロック内持ち回りはそのまま1県2名の推薦枠に拡充し、少なくとも1名が若手指導者か女性指導者となるよう実施していくことを報告。以上これを了承。

## 9. プロジェクト等報告

プロジェクトの協議内容について、事務局より以下のとおり報告。

### <スポーツ安全対策プロジェクト>

ジュニアスポーツ法律アドバイザーシステムワーキンググループ

#### (1) 2005年ジュニアスポーツの育成と安全・安心フォーラムについて

平成17年2月6日(日)に東京を含めた関東近郊で開催し、基調講演と分科会方式で実施することを確認した。

#### (2) 弁護士の組織化について

日弁連の協力によりリストアップされた442名の弁護士に対し、調査・確認を行うとともに、今後のアドバイザー委嘱までの手順やジュニアスポーツの研修会の実施について確認した。

## 10. 各ブロック報告

特になし。

## 11. その他

### ① 2003年ミズノスポーツメントール賞について

事務局より、2003年ミズノスポーツメントール賞の受賞者について、京都府スポーツ少年団副本部長の赤川行男氏がスポーツメントール賞を受賞されたことを報告。

### ② 日独青少年指導者セミナー派遣事業について

事務局より、本事業は世界青少年交流協会より依頼を受け、青少年指導者の資質向上と、青少年育成の発展を図ることを目的として実施しているもので、本年度は9月26日(日)から10月16日(土)まで21日間の派遣を予定していることを報告。

世界青少年交流協会より8名の派遣候補者の推薦を依頼されており、都道府県・市区町村のスポーツ少年団の事務担当者及びスポーツ少年団有資格者を対象として、都道府県スポーツ少年団を通じ候補者を募ること、候補者については、本年度5月に同事業の受入を行う宮崎県、長崎県、沖縄県から優先的に募りたい旨併せ報告、これを了承。参加者の募集・推薦に対する協力をブロック選出の常任委員へ依頼した。

その他、山崎常任委員より、去る4月11日に青森県稲垣村で開催されたバレーボール交流大会に参加した秋田県のスポーツ少年団指導者と団員が交通事故に遭い、重傷を負ったことについて報告があり、試合や大会等の移動について注意を喚起する等の対策が必要ではないかとの意見があった。これに対し、事務局より、今後プロジェクト等に対応策を検討していきたい旨、回答。

## <議 案>

### 1. 第 42 回全国スポーツ少年大会の開催について

事務局より、本年 8 月 4 日から 7 日までの 4 日間、「国立江田島青年の家」を主会場に開催する第 42 回全国スポーツ少年大会の開催について、開催要項(案)に基づき説明。併せて本委員会で承認の後、来たる 4 月 16 日に広島市で開催の実行委員会において最終的な確認を行い、各都道府県に発信したい旨を諮り、大会開催の承認と併せ、これを了承。また、最終承認方については、本部長と同実行委員会へ出席する事務局に一任願いたい旨を諮り、これを承認。

### 2. 第 26 回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会の開催について

事務局より、本年 8 月 4 日から 7 日までの 4 日間、奈良県橿原市にて開催する第 26 回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会の開催について、実施要項(案)に基づき説明。併せて本委員会で承認の後、来たる 4 月 16 日に橿原市で開催の実行委員会において最終的な確認を行い、各都道府県に発信したい旨を諮り、大会開催の承認と併せ、これを了承。また最終承認方については、同実行委員会へ出席する佐藤副本部長に一任願いたい旨を諮り、これを承認。

### 3. 2004 年日中青少年スポーツ指導者交流事業の実施および日本派遣団の編成について

事務局より、昨年 SARS の影響で延期となった本事業の実施について、実施要項(案)に基づき説明。また、日本派遣団員の選考および団長・総務の人選等日本派遣団の編成については、本部長に一任願いたい旨を諮り、いずれも承認。

### 4. 平成 17 年度事業計画および要望予算の編成について

事務局より、平成 17 年度事業計画および要望予算の編成については、従来同様、各専門部会の要望等を取りまとめた後、全体的な調整を行い、最終的な事業計画と要望予算の「取りまとめ」については、本部長に一任願いたい旨を説明。これを承認。

## 8. その他

特になし。

以上協議し、14 時 15 分に閉会。